



2024年 6月10日  
第196号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## ええ～「疑義」が何かわからないのに何を信任するの？

# 「信任投票」に至った理由 明確にならないまま デタラメな「信任投票」今日から

川崎統括センターにおいて現行の過半数代表者に対する「信任投票」が今日から17日までの8日間行われます。JR東労組横浜地本は中止を求めてきましたが強行される形です。

「信任投票」の周知期間は、掲示が貼り出された6月3日から17日までと投票期間と重なる形であり、実質の周知期間は昨日までのわずか7日間です。しかも、未だ「信任投票」に至る明確な理由が明らかになっていません。

内容は詳しくはわからないが、疑義があったと聞いている

あれ以上のことはわからない。むしろ組合掲示板にいっぱい書いてある。

経過に疑義があったということで、信任投票をやるとしか聞いていない

具体的なところはわからないが、疑義が生じたことを支社が確認し、信任投票を行う判断をした

中身は支社から聞いていない。



ええ～  
組合の掲示板で確認  
しろっていうの!?



「疑義」って何ですか？

結局のところ  
よくわからないな～  
どうやって信任するの!?

各職場の現場長・管理者は、社員が「疑義」について確認しても「詳しくは聞いていない」「わからない」と答えています。また「組合掲示板に情報が貼ってあるからわかるでしょ!」と組合掲示で確認してくれと言わんばかりの無責任ぶりです。これで本当に「信任」になるのでしょうか？

**「信任投票」の理由が明確でないのに、信任投票を強行すること自体が不正ではないでしょうか!?**

# 現場長も納得感なし! ? 仲間と共に不正に立ち向かおう!